

経済・金融 フラッシュ

地域経済報告(さくらレポート7月) : 景気は下げ止まりつつも、依然厳しい状況

経済調査部門 研究員 桑島 滋

TEL:03-3512-1838 E-mail: kuwahata@nli-research.co.jp

1. 景気は下げ止まりつつも、依然厳しい状況

日本銀行が7月6日に公表した「地域経済報告(さくらレポート)」によると、地域の景気動向について、「足もとの景気は、悪化ペースが鈍化しており、下げ止まりつつあるものの、引き続き厳しい状況にある。」とし、前回(09年4月)の総括判断を上方修正した。

今回の総括判断では、「大幅に悪化している」とされた前回から「悪化ペースが鈍化しており、下げ止まりつつある。」へと修正されており、在庫調整の進展等を背景に輸出、生産に持ち直しの動きが見られることから、景気は悪化のテンポを緩め、下げ止まりつつあるものの、企業収益の大幅悪化に伴う設備投資の減少や、雇用・所得環境の悪化を背景とした個人消費の低迷が懸念され、依然厳しい状況にあることが示された。

日本銀行による地域別景気判断の推移

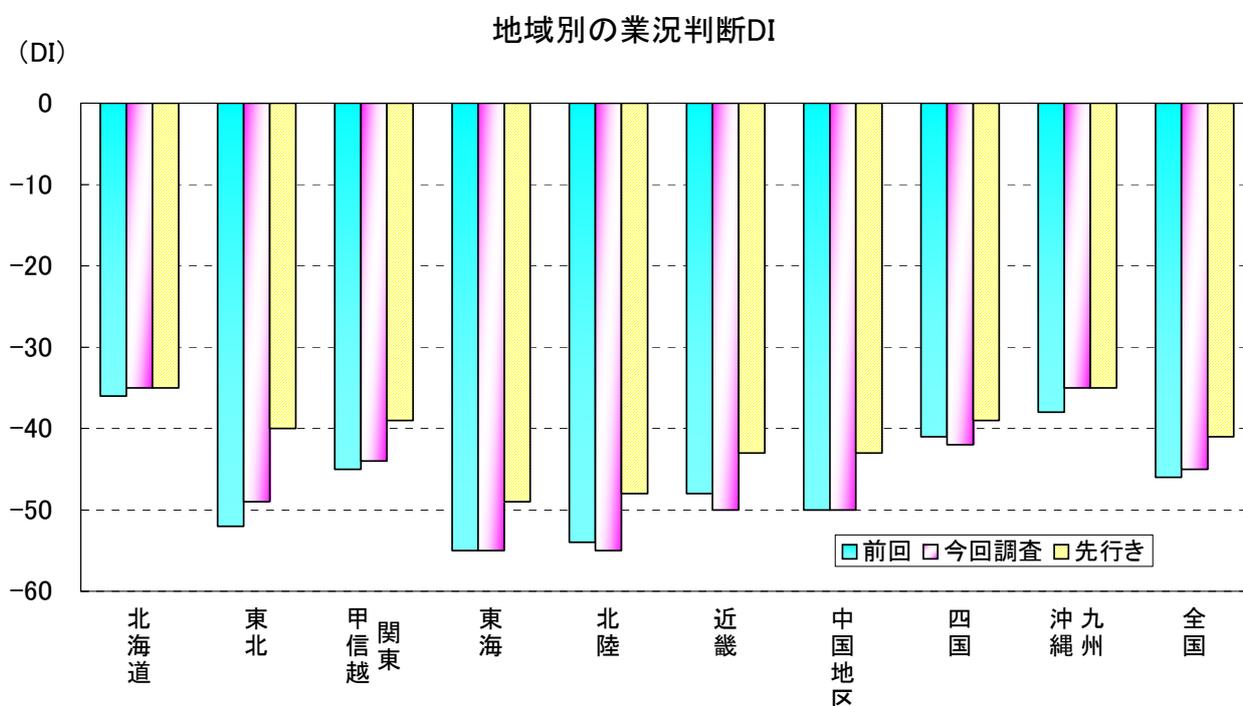
地域		2008/7	2008/10	2009/1	2009/4	2009/7
北海道	総括判断	弱めの動きとなっている	やや厳しい状況にある	厳しさが増している	厳しさを増しており、低迷している	低迷している。
	判断の変化	→	→	→	→	→
東北	総括判断	足踏み感がみられている	弱めの動きが広がっている	悪化している	大幅に悪化しており、厳しさを増している	厳しい状況が続いているが、下げ止まりつつある
	判断の変化	⇐	→	→	→	→
北陸	総括判断	減速感が幾分増している	停滞している	悪化している	大幅に悪化している	依然として厳しい状況にあるが、下げ止まりの兆しがみられている
	判断の変化	→	→	→	→	→
関東甲信越	総括判断	減速している	停滞している	悪化している	大幅に悪化している	大幅に悪化したあと、下げ止まりつつある
	判断の変化	→	→	→	→	→
東海	総括判断	引き続き高水準にあるが、足もとは減速がはっきりしてきている	なお高水準を保ちつつも、下降局面にある	急速に下降している	急速に下降している	輸出と生産の持ち直し等から、下げ止まりつつある
	判断の変化	→	→	→	⇐	→
近畿	総括判断	減速している	停滞している	悪化している	大幅に悪化しており、厳しい状況にある	なお、厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある
	判断の変化	→	→	→	→	→
中国	総括判断	全体として緩やかな回復を続けているが、そのテンポは、このところ鈍化している	一部に弱い動きがみられるが、全体としては概ね横ばいで推移している	悪化している	悪化している	下げ止まりつつある
	判断の変化	→	→	→	⇐	→
四国	総括判断	横ばい圏内の動きとなっている	やや弱めの動きとなっている	弱い動きが広がっている	悪化している	悪化を続けているが、一部に下げ止まりの兆しがみられる
	判断の変化	→	→	→	→	→
九州・沖縄	総括判断	足踏み感が強まっている	停滞している	悪化している	大幅に悪化している	大幅に悪化したあと、下げ止まりつつある
	判断の変化	→	→	→	→	→

(資料)日本銀行「さくらレポート」より作成

地域ごとの景気判断についても、全9地域の判断が前回と比べ、上方修正された。上方修正理由としては、ほぼ全地域において、経済対策による公共投資が増加していることや輸出の持ち直し、在庫調整の進展に伴い生産が増加していることが挙げられている。

2. 業況判断DI(全規模・全産業)は全地域で、ほぼ横ばい

さくらレポートと同時に公表された6月短観の9地域の業況判断DIによると、全9地域のうち北海道、東北、関東・甲信越、九州・沖縄の4地域で上昇したのに対し、近畿、四国、北陸の3地域で低下した。中国、東海は、前回から変化がなかった。前回調査(3月)からのDIの変化幅は、全地域で小さく、前回調査(3月)より最も大きく改善した東北、九州・沖縄で3ポイント、最も大きく低下した近畿でも2ポイントとなった。



(資料)日本銀行「さくらレポート」等より作成

6月短観の業況判断DIを業種別にみると、製造業(全規模)は、東北、北海道、東海で上昇幅が比較的大きくなった。東北は、電気機械が29ポイント(▲77→▲48)、精密機械が10ポイント(▲60→▲50)、前回調査(3月)から上昇した結果、製造業全体で、9ポイント(▲60→▲51)上昇し、DIの上昇幅では最大となった。一方、非製造業(全規模)では、東海、北陸でDIの低下が目立った。

業況判断DI(全規模・全産業)の先行きについては、北海道、九州・沖縄を除く全ての地域でDIの上昇が見込まれている。非製造業(全規模)のDIは、ほぼ横ばいとなる見込みであるものの、製造業(全規模)は、中国など、アジアを中心とした輸出の持ち直し、輸送機械、電子・デバイスの在庫調整の進展による生産の持ち直し等を背景として、北陸の精密機械が67ポイント(▲83→▲16)、中国の自動車が42ポイント(▲82→▲40)上昇する見込みとなっている。また、東北、北

陸、関東・甲信越、東海、近畿、中国の各地域で10ポイント以上、DIが上昇する見込みとなっており、製造業の景況感は大幅改善が期待される。ただし、当面、失業率の上昇、賃金減少による雇用・所得環境の悪化を背景として、個人消費の低迷が予想される点や、過剰感の高まりから設備投資の増加が期待できない点を考慮すると、各地域の景況感について、V字回復は望めず、緩慢なものとならざるを得ないと思われる。

地域別短観における業況判断DI

(1)業況判断DI(全産業)

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	北海道	東北	北陸	関東 甲信越	東海	近畿	中国	四国	九州 沖縄	全国 (参考)
2008年6月	▲21	▲24	▲18	▲3	▲5	▲3	▲13	▲14	▲8	▲7
9月	▲27	▲27	▲22	▲10	▲15	▲9	▲17	▲16	▲14	▲14
12月	▲28	▲34	▲33	▲22	▲27	▲21	▲29	▲25	▲20	▲24
2009年3月	▲36	▲52	▲54	▲45	▲55	▲48	▲50	▲41	▲38	▲46
6月	▲35	▲49	▲55	▲44	▲55	▲50	▲50	▲42	▲35	▲45
9月(予)	▲35	▲40	▲48	▲39	▲49	▲43	▲43	▲39	▲35	▲41

(1)業況判断DI(製造業)

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	北海道	東北	北陸	関東 甲信越	東海	近畿	中国	四国	九州 沖縄	全国 (参考)
2008年6月	▲8	▲12	▲13	▲2	▲6	▲1	▲3	1	▲3	▲3
9月	▲6	▲16	▲24	▲10	▲16	▲7	▲10	0	▲10	▲11
12月	▲15	▲30	▲33	▲27	▲34	▲24	▲27	▲10	▲19	▲25
2009年3月	▲34	▲60	▲68	▲61	▲69	▲57	▲55	▲30	▲43	▲57
6月	▲29	▲51	▲64	▲57	▲64	▲58	▲55	▲36	▲41	▲55
9月(予)	▲26	▲36	▲50	▲47	▲56	▲46	▲45	▲30	▲36	▲44

(1)業況判断DI(非製造業)

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	北海道	東北	北陸	関東 甲信越	東海	近畿	中国	四国	九州 沖縄	全国 (参考)
2008年6月	▲26	▲33	▲21	▲3	▲5	▲5	▲20	▲24	▲12	▲10
9月	▲35	▲34	▲20	▲10	▲13	▲11	▲24	▲26	▲16	▲16
12月	▲33	▲37	▲33	▲19	▲21	▲19	▲31	▲36	▲21	▲23
2009年3月	▲38	▲46	▲44	▲35	▲40	▲40	▲46	▲47	▲35	▲38
6月	▲37	▲47	▲48	▲36	▲45	▲42	▲46	▲47	▲32	▲39
9月(予)	▲39	▲43	▲47	▲34	▲41	▲40	▲42	▲44	▲34	▲37

(資料)日本銀行各支店公表資料より作成

(注)09年9月は、09年6月時点における先行きの数値